

平成21年度における温室効果ガス等の排出の削減に
配慮した契約の締結実績の概要

平成22年5月31日
大学共同利用機関法人
自然科学研究機構

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成21年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1. 平成21年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成21年2月6日閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、平成20年度からの温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）の本格的な実施に向け、「大学共同利用機関法人自然科学研究機構における温室効果ガス排出抑制等のための実施計画」に、環境配慮契約事項を追記し、平成21年度においてもこの計画に基づいて実施した。

2. 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている電気の調達、自動車の購入、省エネルギー改修事業（ESCO事業）及び建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務のうち、電気の調達、建築物の建築に係る設計業務に関して、以下のとおり環境配慮契約を実施した。

○ 電気の調達

施設名	自然科学研究機構 核融合科学研究所（アカデミックゾーン）
所在地	岐阜県土岐市下石町322-6
契約年月	平成21年3月
契約期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
契約電力	800kW
予定使用電力量	2,295,600kWh
契約方式	事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する一般競争入札（裾切り方式）
応札者数	3者
落札者	ダイヤモンドパワー株式会社

施設名	自然科学研究機構 核融合科学研究所（実験ゾーン）
所在地	岐阜県土岐市下石町322-6
契約年月	平成21年3月
契約期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
契約電力	8,700kW
予定使用電力量	32,316,000kWh
契約方式	事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する一般競争入札（裾切り方式）
応札者数	1者
落札者	中部電力株式会社

○ 建築物の建築に係る設計業務（環境配慮型プロポーザル方式）

事業名	自然科学研究機構国立天文台（三鷹）アルマ東アジア地域センター新営工事設計業務（建築）
所在地	東京都三鷹市大沢2-21-1
建物概要	用途：研究所 構造・規模：鉄筋コンクリート造地上3階建 1,954㎡
契約年月	平成21年4月
環境配慮に関するテーマ	①総合的な環境保全性能の評価 ②生涯二酸化炭素排出量

事業名	自然科学研究機構国立天文台（三鷹）アルマ東アジア地域センター新営工事設計業務（設備）
所在地	東京都三鷹市大沢2-21-1
建物概要	用途：研究所 構造・規模：鉄筋コンクリート造地上3階建 1,954㎡
契約年月	平成21年4月
環境配慮に関するテーマ	①総合的な環境保全性能の評価 ②生涯二酸化炭素排出量

3. その他の環境配慮契約に係る事項

- 環境配慮契約を推進するための自然科学研究機構における体制として、環境物品等の調達を推進に関する基本方針に基づく「自然科学研究機構グリーン調達連絡会議」を設置している。

- 環境省が主催する環境配慮契約法に関する説明会に参加し、機構内において環境配慮契約法及び基本方針に基づき、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約を推進するよう周知を図った。